



OTA キャリア教育プラン（別紙）

【求める力】		【各部段階におけるキャリア発達課題】			
		小学部（1～3年）	小学部（4～6年）	中学部	高等部
人間関係形成・社会形成能力	かかわる力	・自分なりの方法で挨拶に応じる。 ・教師に自分の気持ちを簡単な言葉や身ぶりで伝える。 ・教師と相手へ感謝や謝罪の言葉が言える。	・自分なりの方法で自分から挨拶をする。 ・身近な人に自分の気持ちを簡単な言葉や身ぶりで伝える。 ・身近な人に感謝や謝罪の言葉が言える。	・場に応じた挨拶をする。 ・周囲の人に自分から気持ちを伝える。 ・相手と適切な距離でかかわる。	・場に応じた適切な態度で自分から挨拶をする。 ・場に応じた言葉で自分の考えを伝える。 ・相手との関係に応じた適切な距離でかかわる。
	他者を理解する力	・教師や友達の名前、顔、物の区別ができる。 ・短い指示を聞く。	・教師や友達に関心を持ち、かかわる。 ・簡単な話を聞く。	・友達の良さや得意なことを知り、認める。 ・話を最後まで聞き、内容を理解する。	・周囲の人の気持ちを考えて行動する。 ・相手の話に関心を持ち、必要に応じて質問したり、考えを付け加えたりする。
	集団参加・協力・協働	・教師と一緒に集団活動に参加する。 ・教師と協力して物を運んだり、ゲーム等に参加したりする。	・落ち着いて集団活動に参加する。 ・友達と協力して物を運んだり、ゲーム等に参加したりする。	・集団活動にすすんで参加する。 ・自分の担当する役割が分かり、友達と協力して活動する。	・集団活動で自分の役割に気付き進んで参加する。 ・自分の得意不得意を理解し、周囲の人と協力して働く。
自己理解・自己管理能力	身辺自立	・基本的な生活習慣を身に付けようとする。 ・活動の始まりや終わりに気付く。 ・必要な身支度が分かり、整えることができる。	・基本的な生活習慣を身に付ける。 ・一日の予定を意識して次の活動に移る。 ・必要な身支度が分かり、自分から整えることができる。	・基本的な生活習慣の確立を図る。 ・一日の生活の流れが分かり、時間を意識して行動する。 ・場面に応じた服装が分かり、整えることができる。	・生活習慣が整い、規則正しい生活をする。 ・時計を見て時間を意識した適切な行動をする。 ・場面に応じて自ら身だしなみを整えることができる。
	自己理解	・自分の好きなことや得意なことを見つける。 ・自分の物、名前、顔が分かる。 ・自分がほめられていることに気付く。	・自分の好きなことや得意なことの幅を広げることができる。 ・ほめられて、嬉しいと感じる。	・自分の良さや、やりたいことが分かり、それを生かそうとする。 ・自分の得意・不得意が分かり、必要に応じて対応する。	・自己の適性や能力を知り、それを生かして行動する。 ・自分の障害特性について知り、それを克服しようとする。
	ストレスマネジメント	・好き嫌いが分かる。 ・教師と一緒に落ち着いて過ごす。	・嫌なことを自分なりの方法で伝える。 ・好きなことをしながら落ち着いて過ごす。	・嫌なことがあったときの対処方法を知る。 ・自分に合った余暇活動を知る。	・嫌なことがあっても自分に合った方法で対処する。 ・適切に余暇を過ごし心身共にリフレッシュする。
課題対応能力	主体的行動	・教師と一緒に簡単な手伝いをする。 ・教師の励ましを受けて遊びや学習に興味関心をもって取り組む。	・簡単な手伝いをする。 ・遊びや学習に興味関心をもって取り組む。	・自分がすべきことに気づいて取り組む。 ・活動や学習に興味をもち、すすんで取り組む。	・周囲の状況を判断し、できることに進んで取り組む。 ・周囲の状況に関心をもち、自ら考えたり相談したりしながら行動する。
	情報の理解・選択・処理	・ルールや決まりがあることを知る。 ・困ったときには教師と一緒に活動に取り組む。	・教師と一緒にルールや決まりを守ろうとする。 ・困ったときには、身近な人に助けを求める。	・ルールや決まりが分かり、守ろうとする。 ・困ったときには、自分から周囲の人に気持ちや状況を伝える。	・社会のルールやマナーが分かり、行動する。 ・自分で解決できるかを判断し、必要に応じて適切な人に相談する。
	実行力	・やることを確認し、教師と活動に取り組む。 ・教師と一緒に最後まで頑張ろうと努力し、「できた」という経験をする。	・やることが分かり、活動に取り組む。 ・最後まで頑張ろうと努力し、「できた」という経験をする。	・任された役割に最後まで取り組む。 ・課題を成し遂げることで達成感を味わう。	・任された役割に自分から正確に最後まで取り組む。 ・自分の立てた目標に向けて努力し、達成感を味わう。
キャリアアッププランニング	評価・改善	・活動したこと、できたことを教師と一緒に振り返る。 ・ほめられる経験を重ねる。	・できたこと、感想を教師と一緒に振り返る。 ・ほめられたり、感謝されたりする喜びを味わう。	・できたこと、できなかったことを振り返る。 ・周囲の人から評価を受けることで、人の役に立つ喜びを味わう。	・活動を振り返り、評価したことを次回の活動に生かす。 ・周囲の人や仲間と評価し合うことで、自己の適性について考え、働くことの喜びを味わう。
	学ぶこと・働くことの理解	・決められた係の仕事に取り組む。 ・お仕事体験や校外学習の活動に教師と一緒に取り組む。	・係の仕事を自分で選んで取り組む。 ・お仕事体験や校外学習をとおして、自分の身近な仕事について知る。	・係の仕事を自主的に行い、役割を果たす。 ・職場体験学習や校外学習をとおして、様々な仕事があることを知る。	・学級や校内で、状況に応じた手伝いをする。 ・インターンシップをとおして職場について知り、自己の適性について考える。
	自己選択・自己決定	・教師と一緒に自分の好きなことややりたいことを選ぶ。	・自分の好きなことややりたいことを選ぶ。	・自分の得意、不得意を知り、やりたいことを決める。	・自分の得意不得意を知り、自己の適性に合った進路先を選択する。
将来設計	・次回の活動（一年後程度）でやりたいことを考える。 ・時刻や時間、きまりを守って活動することを覚える。	・将来何をしたいか、何になりたいかなどの夢や希望をもつ。 ・時間やきまりを守り、見通しをもって活動する。	・将来の夢や職業を思い描き、自分がやりたいことについて考える。 ・将来の進路希望に基づいて中学部卒業までの目標を立てて取り組む。	・卒業後、2年後、10年後にどうしていきたいか具体的なプランを考える。 ・進路希望の実現のために目標を立てて取り組む。	

授業の充実：日々の教科等の充実を通じて、「なりたい自分」を目指す

キャリア教育推進のための連携

【各教科等】

国語、算数（数学）  
生活、図画工作（美術）、音楽、体育（保健体育）、  
職業・家庭、職業、家庭、理科、社会  
道徳、外国語活動、総合的な学習（探究）の時間、  
特別活動〔さくらタイム（レクリエーション活動、  
委員会活動、学級活動及びホームルーム活動）〕、自立活動

【各教科等を合わせた指導】

日常生活の指導、  
遊びの指導、作業学習

【部活動】

サッカー、陸上、フライング  
ディスク、卓球、文化部

地域との連携

- ・学校間交流、地域交流
- ・居住地校交流
- ・学校便り「瑞桜日記」の町内会回覧
- ・校外学習
- ・ゲストティーチャー
- ・地域行事への参加
- ・地域資源を生かした体験学習、インターンシップ

保護者との連携

- ・個別面談
- ・いばらきキャリア・パスポートの記入

参考文献

特別支援学校学習指導要領解説 各教科編（小学部・中学部）  
小学校キャリア教育の手引き

関係機関との連携

- ・福祉・医療との定期的な情報交換
- ・教育相談

